

令和 4年 4月 8日

中学部保護者様

横浜市立義務教育学校
霧が丘学園
校長 関口 和弘

警報等発令時における生徒の安全確保について 大規模地震等における対応について

I 警報等発令時の対応について

横浜市防災計画における警報等発令時の措置についてお知らせいたします。

警報の種類	神奈川県全域または神奈川県東部に警報発令時の措置	
特別警報 暴風警報 大雪警報 暴風雪警報	① 午前6時の段階で警報継続中	・臨時休校（学校からの連絡はしません）
	② 登校後の発令	・状況により校長が適宜判断します。 ※参照
降灰予報	① 午前6時の段階で横浜市内に予報発表	・臨時休校(学校からの連絡はしません)
	② 午前6時以降または登校後の予報発表 「休校期間」降灰が継続している間。ただし、状況により校長が教育活動の継続・再開を判断。	・保護者又は個人票記載の引取者による引き取り

※ 授業を繰り上げて下校の場合は、メール配信をします。

※ 暴風警報・大雪警報・暴風雪警報が午前6時の段階で出ていない場合でも、保護者が生徒の登校が危険と判断した場合は、ご家庭での判断を優先します。

その場合には、欠席とはなりません。(担任からご家庭等に確認の連絡をいたします。)

※ 気象警報発表状況は、次の方法でご確認ください。

「気象警報の確認方法について」

① テレビのニュース番組(※休校判断時刻前後に放送されるとは限りません。)

② NTTの「177」(※利用が集中した場合つながりにくくなることがあります。)

③ 横浜市危機管理室ホームページ「横浜市の気象情報」

横浜市ホームページ (<http://www.city.yokohama.jp/>) → 「防災」 → 「防災情報」
→ 「気象警報注意報」で確認。

④ 横浜市水防災情報ホームページ(携帯電話版・パソコンでもアクセス可能)

横浜市水防災情報ホームページ (<http://mizubousaiyokohama.jp/>)
→ 「注意報・警報」で確認

⑤ 横浜市「防災情報Eメール」配信(携帯電話・パソコン可能)

上記2の「横浜市水防災情報」ホームページから登録すればEメールで受信可能になります。
配信される情報の種類は、任意に設定可能です。

※情報料は不要ですが、Eメールの通信料が受信者の負担となります。

※通信インフラの性質上、遅配や配信されない場合があります。

2 大規模地震等における対応について

(1) 「東海地震に関連する情報」が発表されたとき

情報の種類	情報発令時の措置	
・調査情報(臨時) ※	警戒体制	
・注意情報 ・予知情報→警戒宣言発令	在交時	① 授業打ち切り ② 保護者または緊急連絡カード記載者引き取り
	在宅中	休校
	登下校中	保護者が自宅にいる→自宅へ 保護者が自宅にいない→霧の里か中学部へ

※「調査情報とは」東海地震の観測データに異常が現れているが、東海地震の前兆現象の可能性について直ちに評価できない場合に発令

※外にいるときは、広報車やヘリコプター等の広報にご注意するよう徹底してください。

(2) 「大規模地震発生時」 および 「大規模地震にあたらぬ地震発生時」

※大規模地震：横浜市域のいずれかで震度5強以上の地震が観測されたとき

地震の種類	地震発生時の措置	
大規模地震発生時	在交時	①授業打ち切り 留め置き→保護者または緊急連絡カード記載者引き取り
大規模地震発生当日と翌日は休校です	登下校時	ゆれがおさまってから ○保護者が自宅にいる場合→自宅へ ○保護者が自宅にいない場合→霧の里か中学校の近い方へ避難
大規模地震にあたらぬ地震発生時で、次の場合は大規模地震発生時と同様の対応を行う ①学校周辺の鉄道が運行再開の見通しが立たない ※「学校周辺の鉄道」：JR 横浜線・東急田園都市線 登校時→ゆれがおさまってから登校/在交時・下校時→留め置き・引き取り ②学校及び周辺の地域が停電となり、生徒を安全に帰宅させられない→留め置き・引き取り		

情報の確認方法について

1 学校宛にメール(返信や返信されないこともあります。)

2 災害伝言ダイヤル 音声ガイダンスにしたがっておかけください。「再生方法」171-2-045-921-8004

(3) 生徒留め置きの際の引き取り者について

※ 生徒留め置きの際は原則として生徒個人票に記載された方に引き渡しを行います。

※ 記載事項の変更等がありましたら、担任までお申し出ください。